

令和 5 年 月 日  
総務企画部 企画広報課  
( 担 当 : 山 田 )  
電話 043-227-4103

**業況は悪化したものの、  
経済活動の回復への期待から先行き見通しは改善。  
コスト上昇分の価格転嫁については、  
10 割(全て価格転嫁できている)と回答した  
事業者は 13.8%にとどまる。**

～千葉商工会議所 景気動向調査（令和 5 年 5 月）～

千葉商工会議所では、会員情報ネットワークを活用して、地域の景気動向を四半期毎に調査しております。この度、令和 5 年 5 月調査の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

景況感を表す全産業の業況 DI は前回（2 月）調査比－1.1 ポイントとなり、仕入価格の高止まりや燃料費などの高騰により 5 期ぶりに悪化したものの、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴う経済活動の更なる回復への期待から先行き見通しは改善しました。

コスト上昇分の価格転嫁については、「10 割(全て価格転嫁できている)」と回答した企業は 13.8%にとどまっています。また、価格転嫁が十分にできていない理由として、「消費者の節約志向・低価格志向が続いている(強まっている)ため」と回答した企業は 36.1%となっており、次いで「競合他社が販売価格を上げていない(据え置き、値下げ)ため」が 31.9%、「需要が減少しているため」が 26.0%と続いております。

【調査概要】

- |            |                                          |
|------------|------------------------------------------|
| 1. 調査期間    | 令和 5 年 4 月 26 日(水)～5 月 19 日(金)           |
| 2. 調査対象    | 千葉商工会議所法人会員事業所 500 社                     |
| 3. 回答数・回答率 | 366 社 73.2%                              |
| 4. 付帯調査テーマ | 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」<br>「人材採用について」 |

# 千葉商工会議所景気動向調査 (令和5年5月)

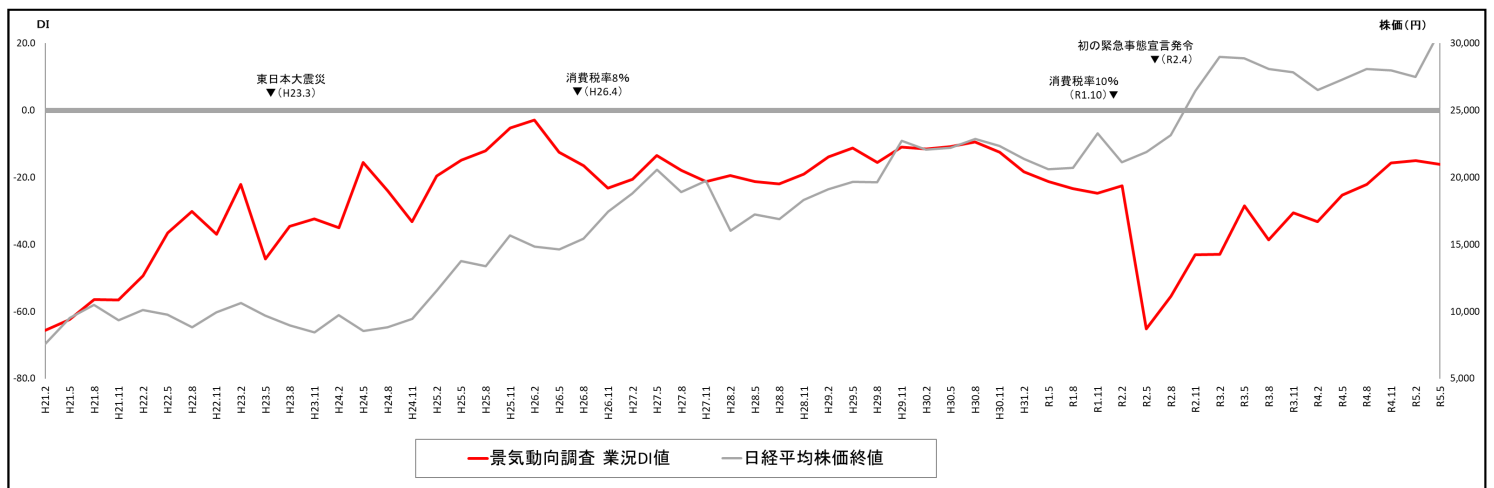
1. 調査期間 令和5年4月25日(火)～5月19日(金)
2. 調査対象 千葉商工会議所法人会員事業所 500社  
(建設・製造・卸売・小売・サービスの5業種、各100社)
3. 回答数・回答率 366社 73.2%(建設75 製造77 卸売77 小売68 サービス69)
4. 付帯調査 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」  
「人材採用について」

## 5. 調査結果のポイント

- ▶ 業況DIは、仕入価格の高止まりや燃料費などの高騰により5期ぶりに悪化したものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の更なる回復への期待から先行き見通しは改善
- ▶ コスト上昇分の価格転嫁について、全て価格転嫁できている企業は13.8%にとどまり、多くの事業者が十分に行えていない

## 6. 全産業業況DI

### (1) 全産業業況DI値および日経平均株価推移

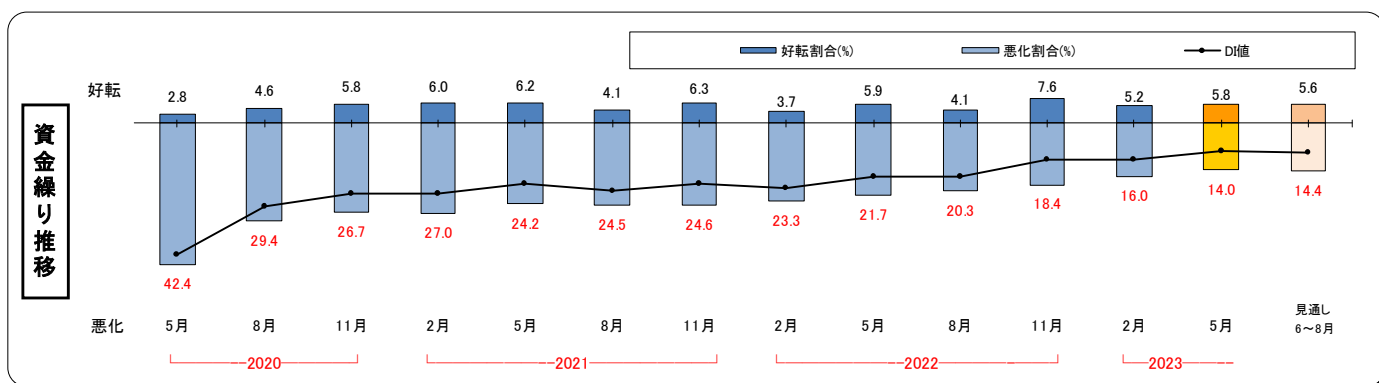
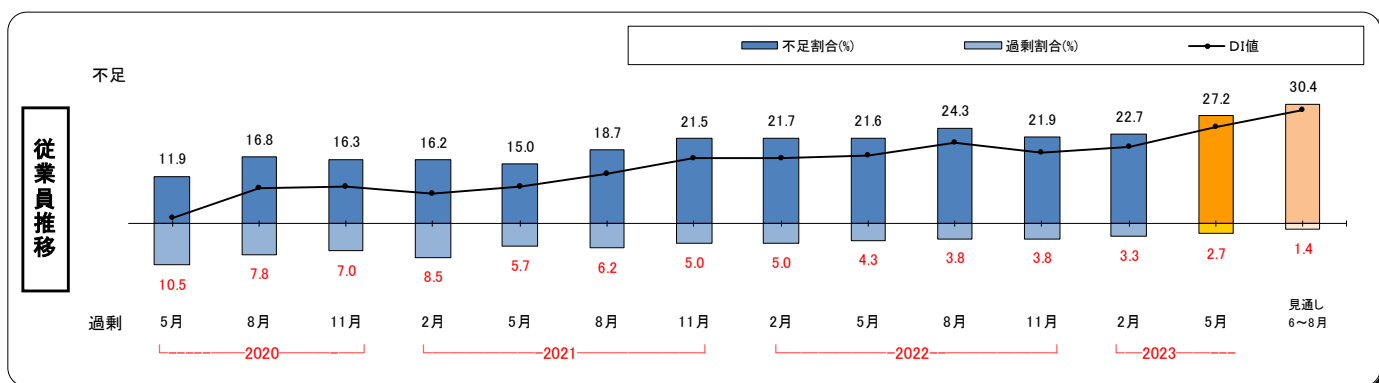
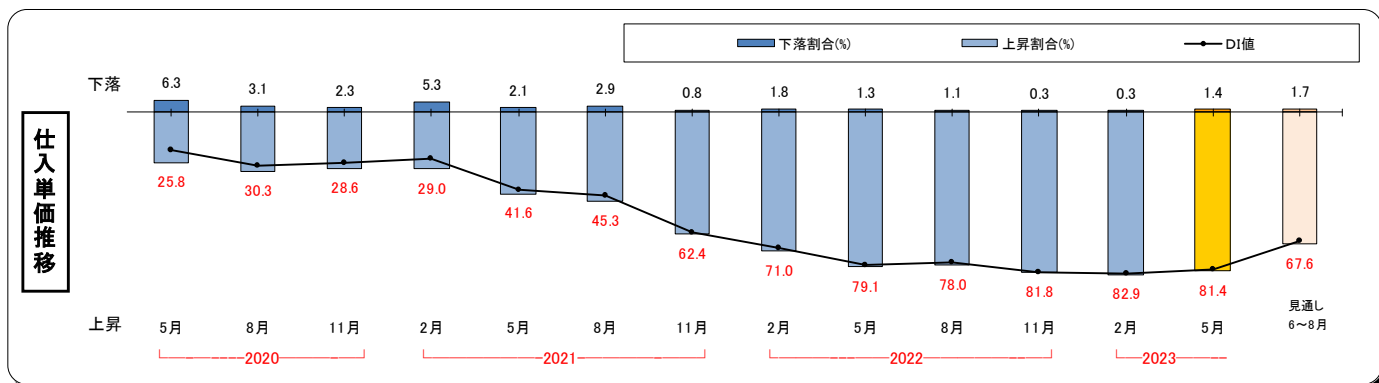
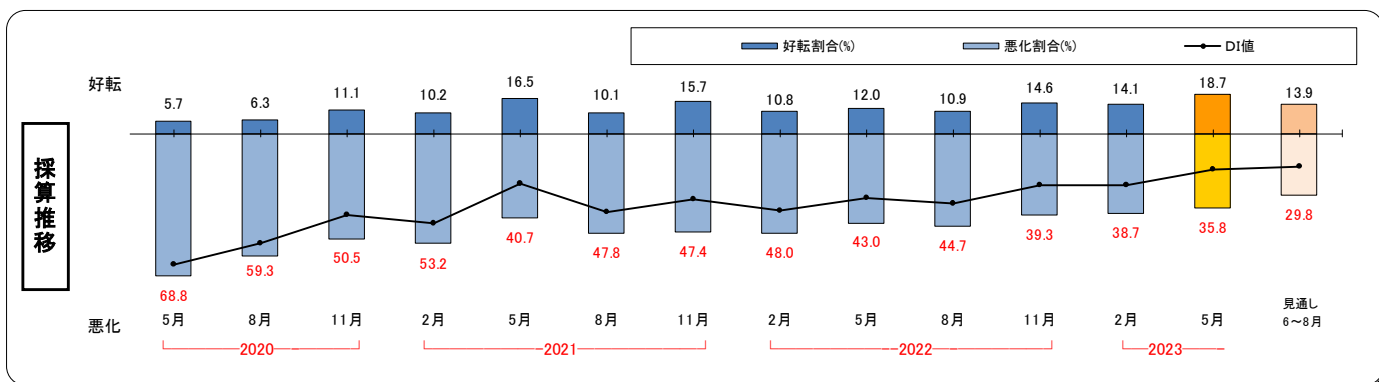
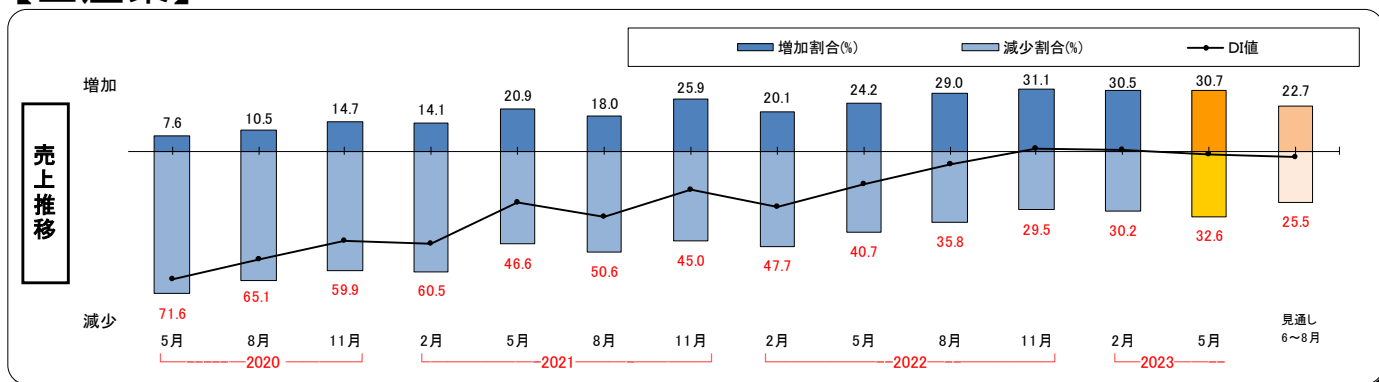


### (2) 全産業業況DI値

|                  | 全産業             | 建設業             | 製造業             | 卸売業             | 小売業             | サービス業          |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 5月<br>(前回比較)     | ▲16.1<br>(-1.1) | ▲21.6<br>(+2.7) | ▲26.0<br>(-8.2) | ▲12.0<br>(-1.6) | ▲14.7<br>(+5.9) | ▲4.4<br>(-3.0) |
| 6～8月<br>(先行き見通し) | ▲12.8<br>(+3.3) | ▲13.5<br>(+8.1) | ▲19.7<br>(+6.3) | ▲21.1<br>(-9.1) | ▲11.8<br>(+2.9) | 4.5<br>(+8.9)  |

## 7. 各 DI 値の推移

### 【全産業】



## 8. 業種別の企業の声

### 建設業

---

- ・燃料高騰や物価高騰が中小企業において転嫁できない状況である。建設業において、「取決め」という請負金額を総額で決められるとその範囲で工事を進めなければならない、高騰した経費があっても反映できない。そのような状況を国や行政が理解しているのか疑問である。以上について早急に解決策を見出してほしい。(とび工事業)
- ・原材料の高騰が続き、かつ元請の建築会社から値下げの要求があり、泣く泣く仕事をせざるを得ない。仕事を回さないといけませんが、かなり厳しい。国・県より支援等をしてもらいたい。(板金工事業)

### 製造業

---

- ・コロナ融資の利息支払いが始まるので、その対策と支援をお願いしたい。(オフセット印刷業)
- ・国や自治体に、中小企業にも積極的に賃上げに動けるような環境を整えてほしい。(コンクリート製品製造業)

### 卸売業

---

- ・コロナ不況も回復していない中、コスト高騰で大変な経営状態が続いている。また「給料を上げろ」との要望があるが、実際には現在の売上では厳しい。(雑穀・豆類卸売業)
- ・ようやく売上が回復して来たので、この上昇機運を維持する施策を続けて欲しい。(食料・飲料卸売業)

### 小売業

---

- ・主にエネルギーコスト上昇への対策を期待する。(百貨店・総合スーパー)
- ・原油価格高騰及びインフレの影響による業績悪化に対し、支援金や補助金のほか消費税免除などの特例を設けていただきたい。(ガソリンスタンド)

### サービス業

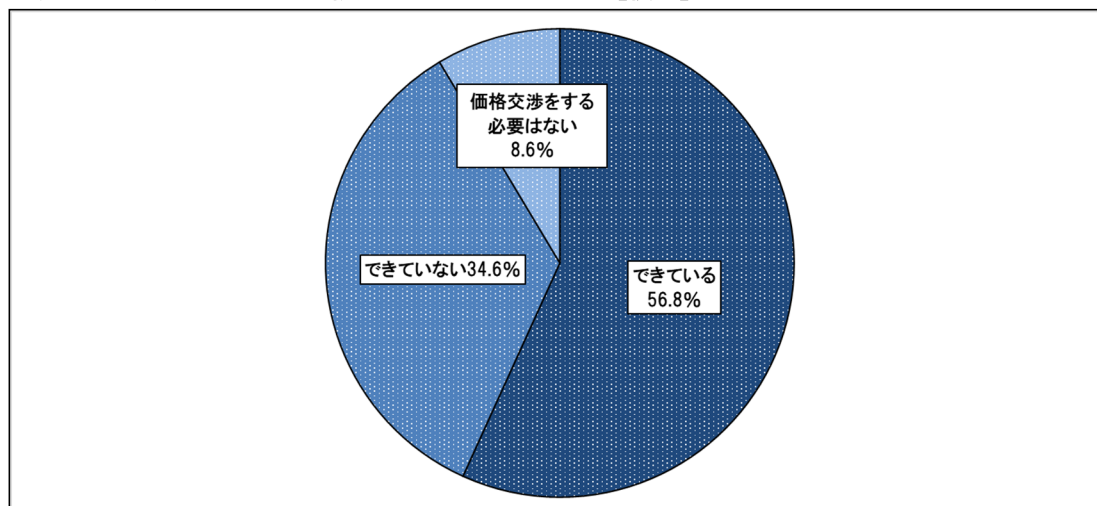
---

- ・セーフティーネットの強化を含めた救済対策の必要を感じる。何故なら新型コロナウイルス感染症が流行して以降、借金の返済に苦しんで倒産する会社が増えていたり、また円安による輸入コストの上昇で原材料や部品が値上がりして困っている会社が多く見受けられるため。(旅館・ホテル)

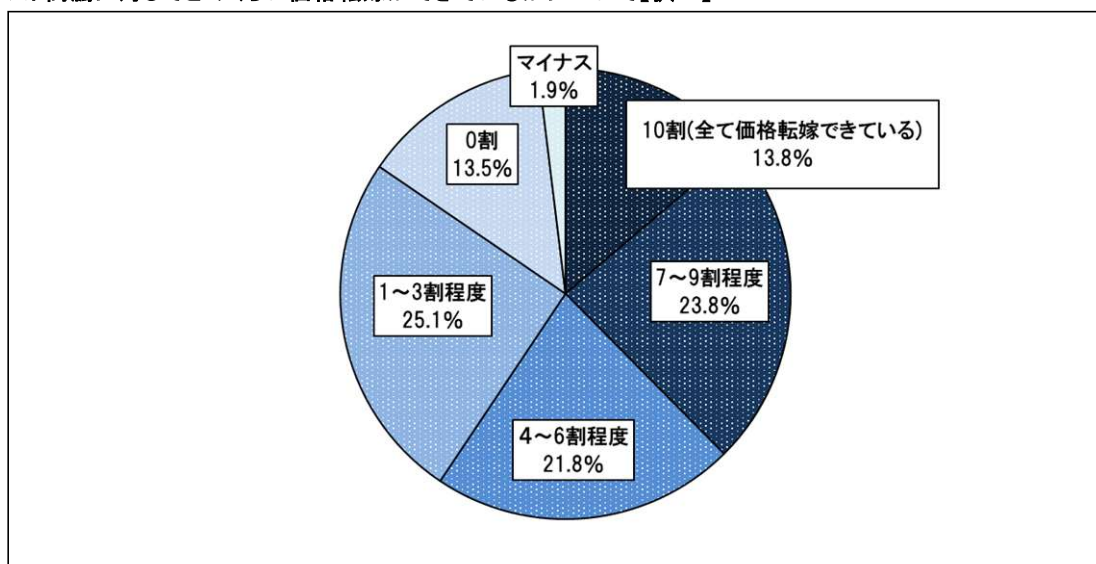
## 9. 付帯調査

「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」

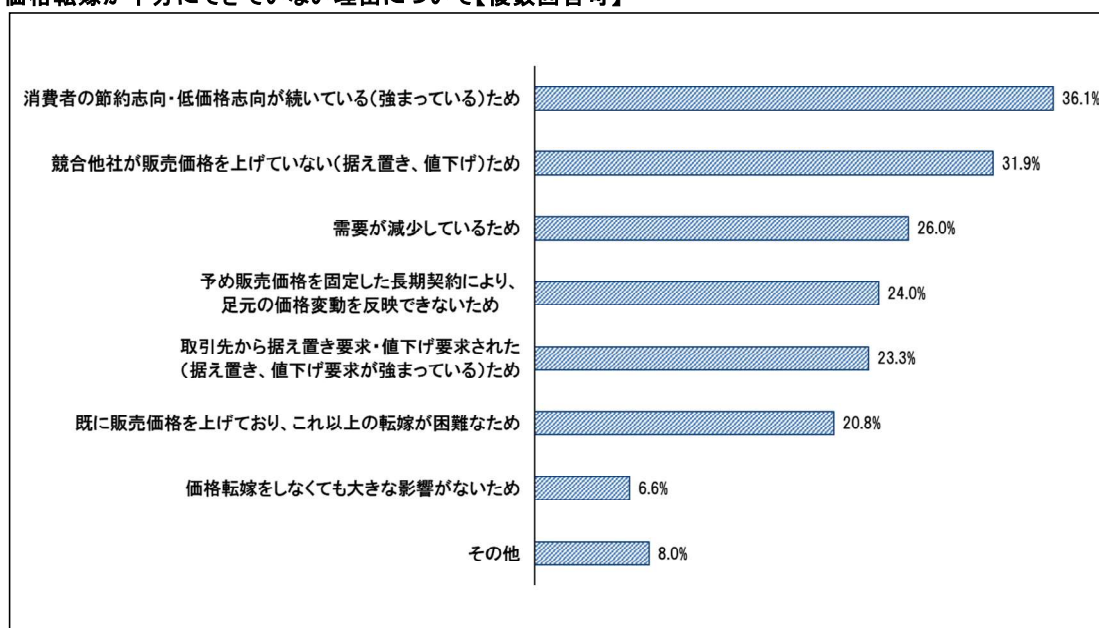
(1)発注側企業と十分に価格交渉(相談)ができているかについて【択一】



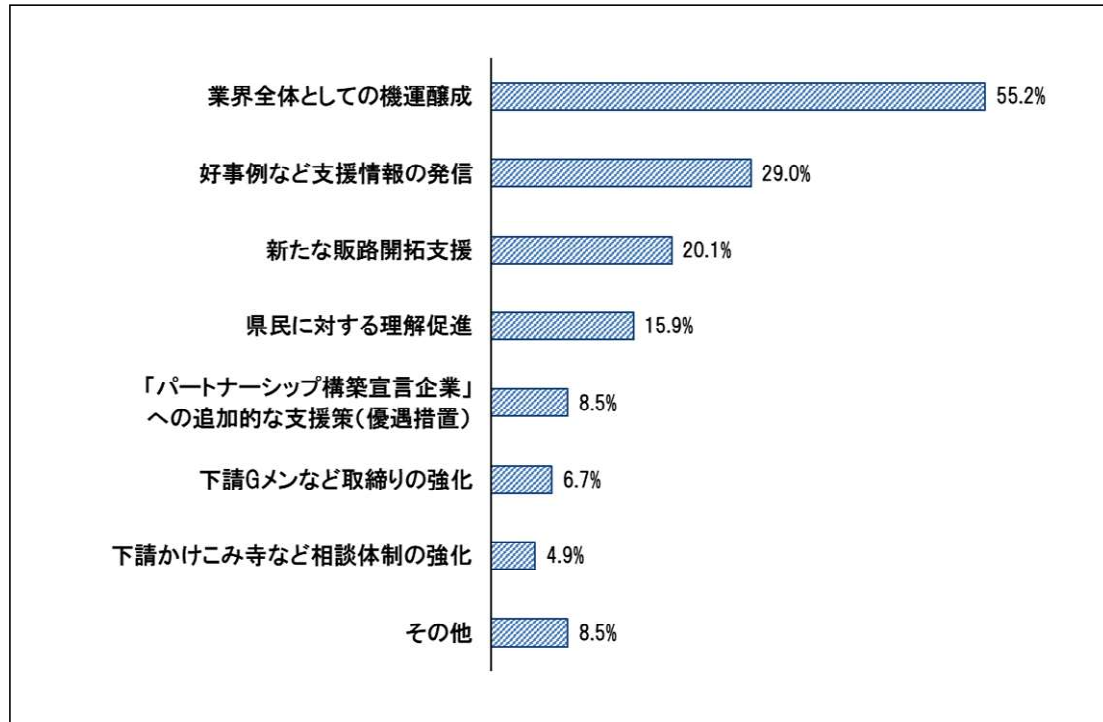
(2)コスト高騰に対してどのくらい価格転嫁ができているかについて【択一】



(3)「設問(2)」で「10割(全て価格転嫁できている)」以外の回答をした企業に伺った。  
価格転嫁が十分にできていない理由について【複数回答可】

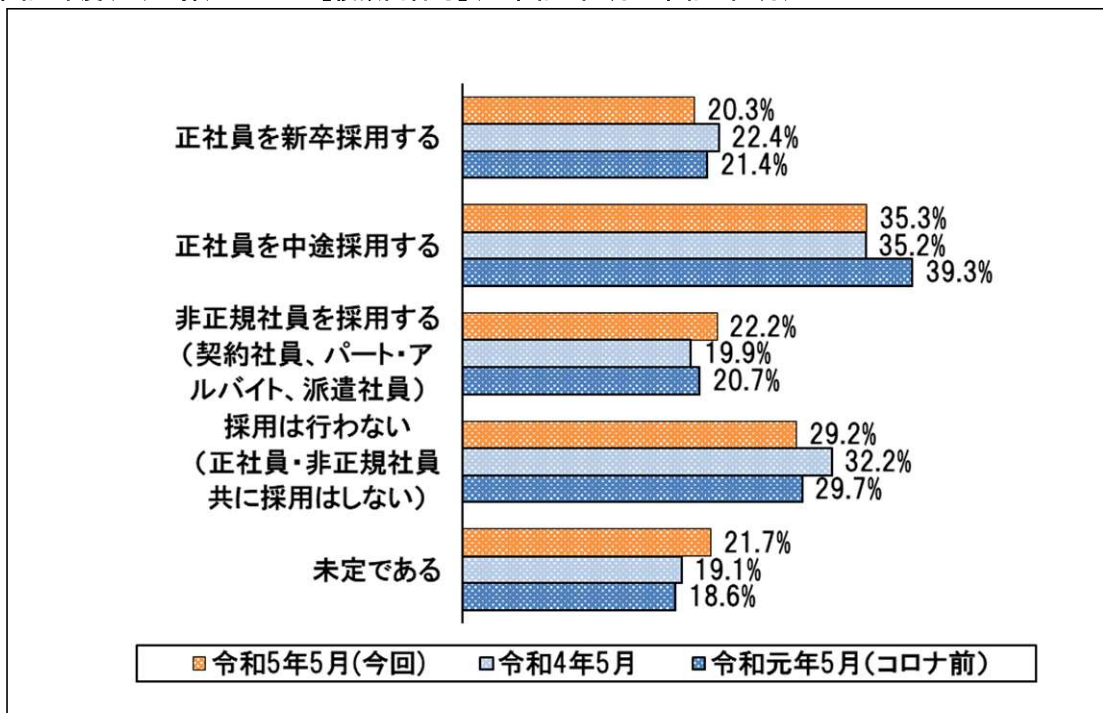


(4)価格転嫁を進めるため、行政(国・県・市)に期待する支援等について【複数回答可】



「人材採用について」

(1)令和5年度(※)の採用について【複数回答可】(※令和5年4月～令和6年3月)



(2)「設問(1)」で「正社員、非正規社員を採用する」と回答した企業に伺った。  
 昨年度と比較した今年度の採用方針について【複数回答可】

